

WARPSTAR

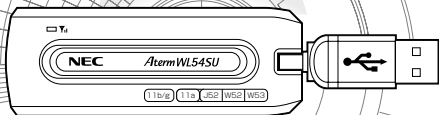
NEC

Aterm® WL54SU

PA-WL/54SU

## 取扱説明書 第1版

このたびは、「Aterm WL54SU」をお選びいただきありがとうございます。ご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。



Total 802.11  
TM  
ABG  
ATHEROS

Total 802.11  
Super  
AG  
TM  
ATHEROS

技術基準適合認定品

「ソフトウェアのご使用条件」は、3ページに記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

# 目次

目次	2
ソフトウェアのご使用条件	3
安全に正しくお使いいただくために	7
1 ご使用にあたって	14
2 セットを確認する	17
3 各部の名前とはたらき	18
4 WL54SUの接続設定を行う	19
5 無線LAN アクセスポイント（親機）に接続するための 無線設定を行う	32
6 トラブルシューティング	56
7 製品仕様	62

- Aterm®、WARPSTAR®は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタート™は、NEC アクセステクニカ株式会社の商標です。
- Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Netscape®は、米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
- Mac、Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Acrobat® Readerは、Adobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Atheros™、ABG、Super AG および Total 802.11 のロゴは Atheros Communications, Inc.の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
- その他の各会社名および各製品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2005

© NEC AccessTechnica, Ltd. 2005

日本電気株式会社、NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

# ソフトウェアのご使用条件

## お客様へのお願い

添付のCD-ROMを開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。本商品に添付のCD-ROMには、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NECアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付のCD-ROMを開封された場合は、ご同意をいただけたものと致します。

## NEC・NECアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NECアクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

### 1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付CD-ROMを開封されたときに発効します。
- (2) お客様は1ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

### 2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に1台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つAtermシリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

### 3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

- (2) お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
- (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

#### 4. 許諾プログラムの移転等

- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用权を当該第三者に移転することができます。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

#### 5. 逆コンパイル等

- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

#### 6. 保証の制限

- (1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により行った場合に限りです。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとします（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限りです。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

#### 7. 責任の制限

- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

#### 8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

## 本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「メニュー画面」をよくお読みください。

- ① 無線 USB スティック、無線 LAN カードの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)
- ② WL54TE (ETHERNET ボックス) の無線 LAN のセキュリティ設定を行う「Ethernet ボックスマネージャ」(Windows® 版)
- ③ 無線 USB スティック、無線 LAN カード用のドライバー式 (Windows® 版)  
※ WL54SU (無線 USB スティック) は Windows® Me ではご使用になれません。

## CD-ROM の使い方

- 1 パソコンを起動し、添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする
- 2 表示される画面に従ってクリックする

### (使用上のご注意)

#### Windows® XP/2000 Professional でご使用の方

- ・ 「メニュー画面」が自動起動しない場合には、以下の操作を行います。
  - ① Windows® の [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
  - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、[OK] をクリックする  
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥menu.exe)  
また、パソコンにより異なりますが、画面を自動起動しないようにするには、「SHIFT」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
- ・ CD-ROM をパソコンから取り出すときには、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- ・ Windows® XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、Ethernet ボックスマネージャのインストール、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

## CD-ROMの動作環境

### ● Windows® 動作環境

- ・ Windows® XP/2000 Professional が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。

### ・ 推奨環境

ハードディスクの空き容量：30MB 以上を推奨

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

メモリ 32MB 以上

800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ



## お知らせ

### ● 表示画面

- ・ サイズ：800 × 600 ピクセル以上
- ・ 色：High-Color (24ビット) 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。




- 「メニュー画面」と「らくらく無線スタート」「サテライトマネージャ」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。

- ・ Windows®：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

# 安全に正しくお使いいただくために

## 安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

## 警告

### こんなときには

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子さまのいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、落としたり破損した場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

### 禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- めれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。





## 警告

### その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の接続を取り外してください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本商品をペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受けるおそれがあります。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

## 注意

### 設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

### 禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 取扱説明書に従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

**STOP** お願い

**設置場所**

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・ 振動が多い場所
  - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
  - ・ 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m 以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

## STOP お願い

### 禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 動作中に外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- WL54SUのUSBコネクタを回転させるときやご使用中は、WL54SUに無理な力が加わらないようにしてください。故障や破損の原因となります。

### 日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。

### 無線LANに関する注意

- 最大54Mbps（規格値）や最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- IEEE802.11aの通信モードは、5.2GHz、5.3GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁止されています。

### その他注意事項

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

## 無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

### ●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

### ●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

# 1 ご使用にあたって

「Aterm WL54SU」は、IEEE802.11a（新チャンネル（W52）（W53）、旧チャンネル（J52）対応）、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応した無線USBスティックです。Aterm WL54SUは、無線LAN端末（子機）としてIEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応している無線LANアクセスポイント（親機）に、離れたところからワイヤレスで通信できます。

- WL54SUを利用できるのは通信相手のワイヤレス機器が、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応している場合です。対応していない機器との通信はできません。
- 対応OSはWindows® XP/2000 Professional（日本語版）のみです。

ご使用方法に合わせて次のように参照してください。

「2 セットを確認する」(●P17)

「3 各部の名前とはたらき」(●P18)

「4 WL54SUの接続設定を行う」

→パソコンとの接続（サテライトマネージャでドライバをインストールする）  
(●P21)

→パソコンとの接続（ドライバの手動インストール）(●P26)

「5 無線LANアクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」

→らくらく無線スタートで設定する (●P32)

→サテライトマネージャで設定する (●P36)

→Windows® XPワイヤレスネットワークの設定で設定する (●P46)



お知らせ

- IEEE802.11aの通信とIEEE802.11g+IEEE802.11b通信、IEEE802.11g通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。

## ■新チャンネル (W52) (W53)、旧チャンネル (J52) 対応

本商品は IEEE802.11a モードにおいて新チャンネル (W52、W53) と従来のチャンネル (J52) の両方に対応しており、IEEE802.11a モードをご利用の場合に、新チャンネル (W52、W53) は最大 8 チャンネル、従来チャンネル (J52) は最大 4 チャンネルがご利用になります。

従来の IEEE802.11a のチャンネルと新しい IEEE802.11a のチャンネルを、次のように表します。

タイプ	チャンネル	周波数帯域	補足
J52	34, 38, 42, 46ch	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz)	従来の IEEE802.11a のチャンネル
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz)	従来の IEEE802.11a の周波数を 10MHz ずらした、諸外国と同じ割り当ての新チャンネル
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz 帯 (5250-5350MHz)	新たに IEEE802.11a で利用可能となる新チャンネル

ただし、新しいチャンネル (W52、W53) と従来のチャンネル (J52) は使用している周波数帯/チャンネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。

以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

バージョンアップ対応機種などの最新情報は、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

無線 LAN 端末 (子機) 無線 LAN アクセス ポイント (親機)		無線 LAN 端末 (子機)	
		従来の IEEE802.11a 対応 無線 LAN 端末 (子機) J52	WL54SU (新 IEEE802.11a 対応) J52・W52・W53
WR7850S/WR6650S (新 IEEE802.11a 対応)	W52 W53	×	◎ (W52/W53)
従来の IEEE802.11a 対応 無線 LAN アクセスポイント (親機)	J52	○ (J52)	○ (J52)
従来の IEEE802.11a 対応の無線 LAN アクセスポイント (親機) で新チャンネル に対応した場合		×	○ (W52)

◎：新チャンネル「W52 (5150-5250MHz)」 「W53 (5250-5350MHz)」を使用して、最大 8 チャンネルが利用可能です。

○：新チャンネル「W52 (5150-5250MHz)」または従来チャンネル「J52 (5150-5250MHz)」を使用して、最大 4 チャンネルが利用可能です。

×：利用不可。

## ■ワイヤレス機器の使用上の注意

- IEEE802.11a 通信利用時は 5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
- W53 (52/56/60/64ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - ・各チャンネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OF-DM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



- 2.4 :2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
- DS/OF :DS-SS 方式および OF-DM 方式を示す
- 4 :想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
- :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。



## 2 セットを確認する

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別途添付のお問い合わせ先にご連絡ください。

### ●構成品

WL54SU



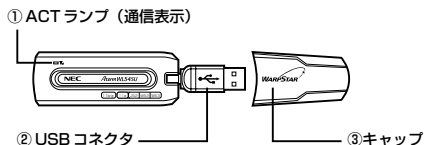
取扱説明書（本書）



CD-ROM（ユーティリティ集）



## WL54SU



## ① ACT ランプ

通信可能状態および、データ通信中に青色で点滅します。

## ② USB コネクタ

パソコンのUSB ポートに差し込み接続します。

## ③ キャップ

使用するときは、キャップを外してください。

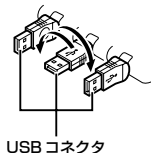
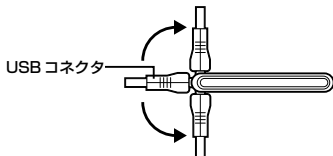
## ● お願い

- WL54SU (無線 USB スティック) を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス (Ethernet ポートデバイスなど) と同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。
- IEEE802.11a の通信と IEEE802.11g+IEEE802.11b は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。



## ● お知らせ

- USB コネクタは、下図のように折り曲げたり、回転して使用できます。
- 回転させるときは、無理な方向に力を加えないようにしてください。故障や破損の原因となります。



ここでは、WL54SUを無線LAN端末（子機）として使用するための接続設定を次の手順で説明しています。ご利用の環境にあわせて設定してください。

①パソコンとの接続（ドライバのインストール）

- ・サテライトマネージャでインストールする場合（☛P21）
- ・ドライバの手動インストール（☛P26）

②設定する

- ・らくらく無線スタートで設定する（☛P32）
- ・サテライトマネージャで設定する  
(Windows® XP/2000 Professionalの場合)（☛P36）
- ・ワイヤレスネットワークの設定 (Windows® XPの場合)（☛P46）

※無線LANアクセスポイント（親機）によって「らくらく無線スタート」でも設定することができます。ご利用の無線LANアクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線LANアクセスポイント（親機）に添付の「つなぎかたガイド」等を参照してください。



WL54SUを無線LAN端末（子機）としてご利用になれるOSは、Windows® XP/2000 Professionalのみです。Macintoshではご利用になれません。

WL54SU（無線USBスティック）は、USBポート（USB2.0推奨）を装備しているパソコンに取り付けることができます。

## お願い

- USB 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB 2.0 でのご使用をお勧めします。  
動作確認パソコンは AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) をご覧ください。  
WL54SU の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。
- WL54SU はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前に WL54SU を挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させないと WL54SU のドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。
- 無線 LAN 内蔵パソコンに WL54SU（無線 USB スティック）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線 LAN の [デバイスマネージャ] の [ネットワークアダプタ] にある内蔵無線アダプタを [無効] に設定してからご使用ください。
- WL54SU と無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離は、1m 以上離してお使いください。無線 LAN アクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。
- 隣り合う USB ポートの間隔により、複数のポートを同時に使用できない場合があります。また、USB インタフェースに WL54SU（無線 USB スティック）を接続した場合、電力不足となり、お使いいただけない場合があります。

## パソコンとの接続（サテライトマネージャでドライバをインストールする）

### サテライトマネージャをインストールする

WL54SUを設定するためのユーティリティ「サテライトマネージャ」をパソコンにインストールします。

- 1 Windows® XP/2000 Professional を起動する  
Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。
- 2 添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をCD-ROMドライブにセットする  
「メニュー画面」が表示されます。  
「メニュー画面」が表示されないときは（☞P5）
- 3 [Aterm トリプルワイヤレス子機のドライバ及びユーティリティをインストールして設定する] の [CLICK] をクリックする

- 4 「Aterm WARPSTAR ユーティリティ」画面で [次へ] をクリックする



- 5 「次へ」をクリックする

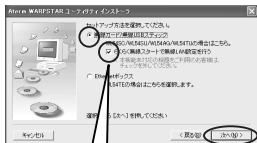


- 6 画面の同意書を読み、同意できる場合は [次へ] をクリックする



(次ページに続く)

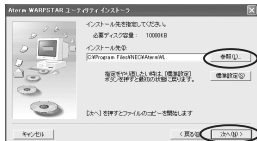
- 7 [無線カード/無線USBスティック] を選択し、無線 LAN アクセスポイント (親機) の「らくらく無線スタート」対応/非対応により※ [らくらく無線スタートで無線 LAN 設定を行う] のチェック (する/外す) を選択して、[次へ] をクリックする
- ※無線 LAN アクセスポイント (親機) の「らくらく無線スタート」の対応/非対応については、無線 LAN アクセスポイント (親機) に添付されている「つなぎかたガイド」などで確認してください。



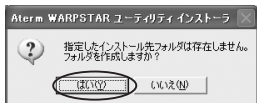
「らくらく無線スタート」に対応している場合  
→ チェックする

「らくらく無線スタート」に対応していない場合  
→ チェックを外す

- 8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする
- インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックして変更してください。



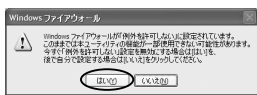
- 9 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする
- インストールが開始されます。



- 10 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする

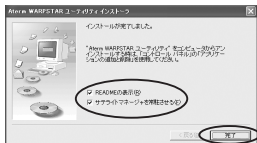


- 11 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする



- 12 [READMEの表示] と [サテライトマネージャを常駐させる] にチェックが入っている (☑) ことを確認し、[完了] をクリックする

サテライトマネージャがインストールされました。



- 13 READMEをよく読み、[README] 画面を閉じる

インストールが完了し、らくらく無線スタートまたはサテライトマネージャが起動します。

- 14 「メニュー画面」を閉じる

- ➡ 「ドライバをインストールする」 (●P24) に進みます。

### 📢 お知らせ

- サテライトマネージャ、またはらくらく無線スタートで設定を行った場合、Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。Windows® XPの「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。(●P46)

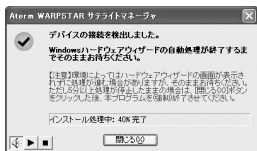
## ドライバをインストールする

1 通知領域（タスクトレイ）にサテライトマネージャが表示されることを確認する



2 WL54SUのキャップを取り外し、パソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、ドライバのインストールが完了するまで操作しないでください。



➡ 「5 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」（P32）に進みます。

※ 「サテライトマネージャをインストールする」手順 7（P22）での選択によって表示される画面が異なります。

- ・無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応している場合  
→ 「らくらく無線スタートで設定する」（P32）
- ・無線 LAN アクセスポイント（親機）がらくらく無線スタートに対応していない場合  
→ 「サテライトマネージャで設定する」（P36）

### お願い


- WL54SU（無線 USB スティック）と WL54SC などの無線 LAN カードを同時に使用することはできません。同時に接続してしまった場合は、両方をいったん取り外して接続し直してください。それでも動作しない場合は、それぞれのドライバをアンインストールしてから接続し直してください。



## ❗ ドライバをアンインストール（削除）するには

WL54SUのドライバを正常にインストールできなかった場合やパソコンをWL54SUのドライバをインストール前の状態に戻したい場合は、WL54SUのドライバをアンインストールします。

※Aterm WARPSTARユーティリティがインストールされている必要があります。  
インストール方法については「サテライトマネージャをインストールする」(●P21)を参照してください。

- ① [スタート] – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] – [ドライバのアンインストール] をクリックする
- ② 画面の指示が出たら、タスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンをクリックして、"NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter を安全に取り外します"をクリックする
- ③ 取り外し可能のメッセージが表示されたら [OK] (Windows<sup>®</sup> XPの場合は ) をクリックする
- ④ WL54SUを取り外す
- ⑤ [OK] をクリックする
- ⑥ アンインストールするドライバを選択し、[実行] をクリックする
- ⑦ 画面の指示に従ってアンインストールを行う



## パソコンとの接続（ドライバの手動インストール）

WL54SUのドライバを手動でインストールして設定を行う場合は、次の手順で設定を行ってください。なお、ここではWindows® XPを例に説明します。Windows® 2000 Professionalではドライバが収録されているCD-ROMのフォルダが異なりますので手順7に注意してください。

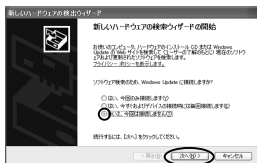
1 Windows® XPを起動する

2 添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をセットする

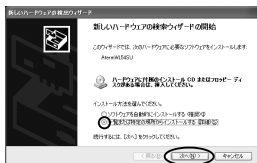
しばらくすると「メニュー画面」が表示されるので、画面を閉じてから手順3に進みます。また、「メニュー画面」が表示されない場合も、手順3に進みます。

3 パソコンにWL54SUを取り付ける

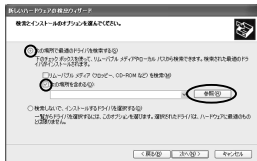
4 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で「ソフトウェア検索のためWindows Updateに接続しますか？」の画面が表示された場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックする



5 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示された場合には、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックする



6 「次の場所で最適なドライバを検索する」と「次の場所を含める」にチェックし、「参照」をクリックする



## 7 CD-ROM ドライブから [Drv] - [WinXP] を選択し、[OK] をクリックする

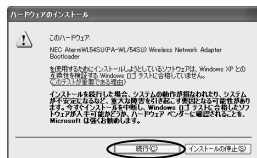
Windows<sup>®</sup> 2000 Professional の場合、[Drv] - [Win2000] を選択します。

## 8 [次へ] をクリックする

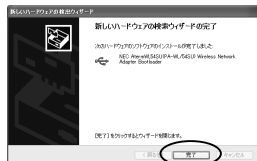


(この画面は、CD-ROM ドライブ名が E の場合です)

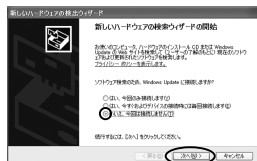
## 9 次の画面が表示されたときは [続行] をクリックする



## 10 [完了] をクリックする

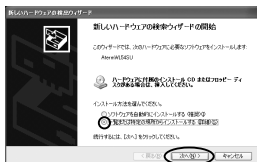


## 11 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で [ソフトウェア検索のため Windows Update に接続しますか?] の画面が表示された場合は、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] をクリックする

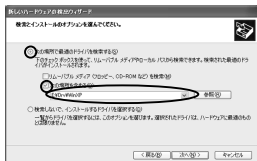


(次ページに続く)

- 12 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示された場合には、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択し、[次へ] をクリックする



- 13 [次の場所で最適のドライバを検索する] と [次の場所を含める] にチェックし、参照先が手順7で選択した通りになっていることを確認する

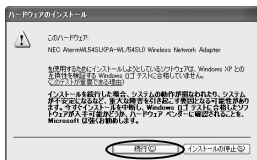


- 14 [次へ] をクリックする

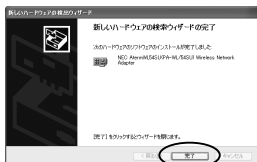


(この画面は、CD-ROM ドライブ名がEの場合です)

- 15 次の画面が表示されたときは [続行] をクリックする



- 16 インストールが完了したら、[完了] をクリックする



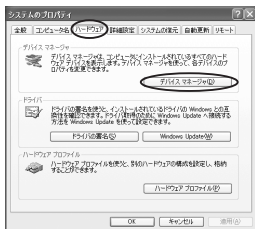
## 17 CD-ROM を取り出す

## 18 WL54SU ドライバのインストールを確認する

- ① [スタート] - [マイコンピュータ] - [システム情報を表示する] をクリックする

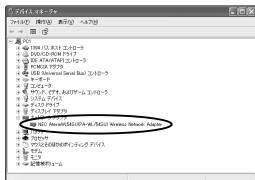


- ② [ハードウェア] タブをクリックする  
③ [デバイスマネージャ] をクリックする



※画面は、Windows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。Windows® のアップデート状況によって [デバイスマネージャ] の場所が異なります。

- ④ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする  
⑤ [NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter] が表示されていることを確認する



(次ページに続く)

## ? こんなときは

手順 18 で [NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter] の頭に黄色い④が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから、インストールをやり直してください。(●P25)

手順 18 で他のネットワークアダプタが有効になっていると正しく動作しない場合があります。

[NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter] 以外のネットワークアダプタは、[操作] - [プロパティ] をクリックして「全般」タブの「デバイスの使用状況」で「このデバイスを使わない（無効）」をチェックして無効にしてください。

## WL54SUの取り扱いについて

### ■取り付けるとき

- ・ WL54SUのUSBコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- ・ USBコネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
- ・ USBコネクタを無理に折り曲げたり、無理に回転させたりしないでください。

### ■取り外すとき

- ・ WL54SUを取り外すときは、以下の操作でWL54SUを取り外せる状態にしてから取り外してください。
  - ①タスクトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンをクリックする
  - ② [NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapterの停止] をクリックする (Windows® XPの場合は [NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter を安全に取り外します] をクリックする)
  - ③ 「NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter」 は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、[OK] をクリックする (Windows® XPの場合は  をクリックして画面を閉じる)
  - ④ WL54SUを取り外す

# 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定を行います。

無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては「らくらく無線スタート」で設定することができます。ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の「つなぎかたガイド」などを参照してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応している場合  
→らくらく無線スタートで設定する（☛ 下記）

無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応していない場合  
→サテライトマネージャで設定する（☛ P36）

## らくらく無線スタートで設定する

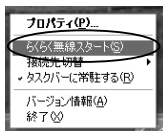
ここでは無線 LAN アクセスポイント（親機）が WR7850S、WR6650S の場合を例に説明しています。らくらくスタートボタンの位置や形状は装置によって異なります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。

### 1 次の画面が表示されることを確認する

※1 分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。



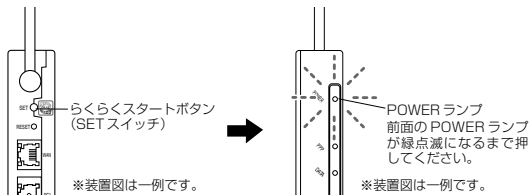
らくらく無線スタートが起動しない場合は、通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「らくらく無線スタート」をクリックします。





## 2 無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタン（SETスイッチ）を押し、前面のPOWERランプが緑点滅になったら離す

※無線LANアクセスポイント（親機）によっては、POWERランプは電源ランプと表示されている場合があります。らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。



POWERランプが約10秒間赤点灯した場合は、「らくらく無線スタート」に失敗しています。

無線LANアクセスポイント（親機）側の取扱説明書等（「機能詳細ガイド」など）を参照して、無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化を設定してください。MACアドレスフィルタリングで接続できる無線LAN端末（子機）の登録がいっぱいになっていないことを確認してください。確認後、再度手順1（●P32）から設定を行ってください。

（次ページに続く）

## 3

## らくらく無線スタートの準備ができていないか確認する

※ 30 秒以内に次の手順に進まない場合は、自動的にキャンセルされます。

### WL54SU（無線 USB スティック）を接続したパソコン

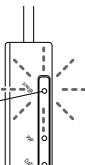
次の画面が表示されることを確認します。



### 無線 LAN アクセスポイント（親機）

登録準備ができると前面の POWER ランプがオレンジ減します。

POWER ランプ



※ 装置図は一例です。



#### どちらか片方だけが上記の状態になっている場合は

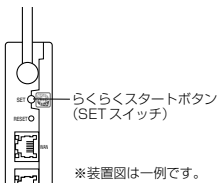
他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。

WL54SU（無線 USB スティック）を接続したパソコンで [キャンセル] をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れ直して手順 1 から設定をやり直してください。

#### どちらも上記の状態にならない場合は

「らくらく無線スタート」がご利用になれません。その場合は、サテライトマネージャで無線設定を行います。サテライトマネージャでの設定のしかたについては、「サテライトマネージャで設定する」(P36)を参照してください。

- 4 もう一度無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタン（SETスイッチ）を押し、手順5の前面のPOWERランプが橙点灯状態になったら離す



らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。

- 5 無線設定が完了していることを確認する

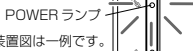
WL54SU（無線USBスティック）を接続したパソコン

次の画面が表示されることを確認します。



無線LANアクセスポイント（親機）

前面のPOWERランプが約10秒間橙点灯することを確認します。



失敗した場合は、POWERランプが約10秒間赤点灯します。手順1の①から設定をやり直してください。

※前面のPOWERランプは、約10秒間橙点灯したあと緑点灯に戻ります。

① らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意

- 無線LANアクセスポイント（親機）側に暗号化設定がされていない場合は、らくらく無線スタートでの設定はできません。
- 無線LANアクセスポイント（親機）側で「MACアドレスフィルタリング機能」を利用しているとき、設定する無線LAN端末（子機）が登録されていない場合は、らくらく無線スタートでの無線設定登録のときに、MACアドレスフィルタリングにも新たに登録されます。ただし、MACアドレスフィルタリングのエントリーが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタートは失敗になります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）側で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタートでの設定をすることができます。

## サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、WL54SUの無線の通信モードの変更、ネットワーク名 (SSID) の変更、無線 LAN の設定をすることができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにも暗号化の設定を行うことをお勧めします。

Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。詳しくは、P46 を参照してください。

無線 LAN 端末 (子機) 間通信 (アドホックモード) でお使いになる場合は、ホームページに公開されている無線 LAN アクセスポイント (親機) の機能詳細ガイド (HTML ファイル) を参照してください。

## サテライトマネージャで設定する

- 1 [スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックしてサテライトマネージャを起動する



サテライトマネージャのインストール時に「[らくらく無線スタートで無線 LAN 設定を行う]」のチェックを外してインストールした場合、手順 3 の画面がすでに表示されています。その場合は手順 4 へ進みます。

- 2 通知領域 (タスクトレイ) にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する
- 3 [ネットワーク一覧] タブをクリックする



## 4

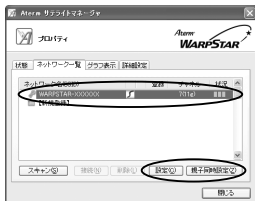
接続先のネットワーク名（SSID）をクリックして、[設定] または [親子同時設定] をクリックする

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。

ただし、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に「無線LAN設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

新しく接続先を登録する場合は、[新規登録] をクリックしてください。

※無線LANアクセスポイント（親機）も同時に設定する場合は [親子同時設定] を、無線LAN端末（子機）のみ設定する場合は [設定] をクリックします。



無線LANアクセスポイント（親機）によっては「親子同時設定」が選択できない場合があります。その場合は [設定] をクリックしてください。

（次ページに続く）

## 無線 LAN の設定を行う

### ■無線 LAN アクセスポイント（親機）も同時に設定する場合

手順 4 で[親子同時設定]をクリックした場合は次のように設定します。

#### [ネットワーク名 (SSID)]

使用するネットワークの名称を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名 (SSID) を選択した場合は、そのままにしておきます。

#### [無線動作モード]

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

#### [チャンネル番号]

無線 LAN アクセスポイント（親機）と通信するチャンネルを選択します。

※ IEEE802.11a モードの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の対応によって選択できるチャンネル番号が異なります。詳細は機能詳細ガイドを参照してください。

#### [暗号化モード]

##### ●暗号化モードで WEP を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WEP] を選択する
- ② 暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する  
「64bit」(弱) < 「128bit」 < 「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。
- ③ 暗号化キーを入力する  
暗号化キーは半角で入力します。  
英数字は 0~9、a~z、A~Z で構成されている文字列を指定できます。  
16進は 0~9、a~f、A~F で構成されている文字列を指定できます。

##### ●暗号化モードで [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を選択する



#### 無線モードの選び方

802.11a... 電波干渉を受けにくく通信状態も安定しています。無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）を近距離で利用する場合にお勧めです。

802.11g... 壁などの電波の障害物に強いため家の中の広いエリアで使うことができます。

802.11g+b... 今お持ちの 802.11b 対応の無線 LAN 内蔵パソコンや無線 LAN 機器がそのまま利用できます。



無線 LAN アクセスポイント（親機）の機種によっては暗号化キーの欄にキーが表示されます。設定を変更する場合は、表示されたキーを消去して、入力してください。なお自動的に表示されるキーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）底面の無線 LAN 設定ラベルに記載されているキーと同じですのでそのまま使用することができます。

## 5 無線LANアクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

### ② 任意の暗号化キーを入力する

暗号化キーは、8～63桁の英数記号、または、64桁の16進数で入力します。暗号化キーは半角で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

- ・ 8～63桁の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	:	?	]	
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[	_	
\$	(	.	:	>	\	`	-

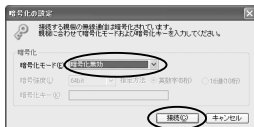
※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

- ・ 64桁の場合

16進数【0～9、a～f、A～F】



接続する無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化設定がされている場合は、次の画面が表示されます。無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせて暗号化の設定を行い、**[接続]**をクリックしてください。



(次ページに続く)

#### ■無線LAN 端末（子機）のみ設定する場合

手順4で「設定」をクリックした場合は、使用する無線LANアクセスポイント（親機）にあわせて次のように設定します。

暗号化の設定を行う場合は必ず無線LANアクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

##### 【ネットワーク名 (SSID)】

無線LANアクセスポイント（親機）の設定にあわせてネットワーク名 (SSID) を入力します。

手順4で使用するネットワーク名 (SSID) を選択した場合は、そのままにしておきます。

##### 【通信モード】

「インフラストラクチャ通信」を選択します。

##### 【暗号化モード】

無線LANアクセスポイント（親機）の設定にあわせて【暗号化モード】で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号化強度」や「暗号化キー」などを入力します。



6

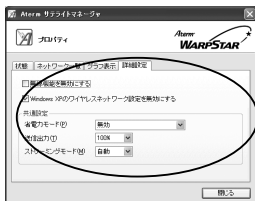
##### 【登録】をクリックする





お知らせ

- [詳細設定] タブをクリックすると、[共通設定] で次の設定が行えます。



・省電力モード

ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

・送信出力

他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・ストリーミングモード

無線通信状態を監視するために無線LAN端末（子機）が行っている、無線LANネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

お願い

- 同じネットワーク名（SSID）を設定した複数の無線LANアクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの「ネットワーク一覧」のチャンネル表示が「状態」の表示と異なる場合があります。「状態」表示の値を参照してください。
- 2台目以降の無線LAN端末（子機）を追加する場合は、1台目と同じ暗号化キーを入力してください。
- 無線LANアクセスポイント（親機）で「WPA-TKIPモード」を使用している場合、無線LAN端末（子機）側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIPモード」または「WPA-AESモード」のどちらの暗号化モードでも無線LANアクセスポイント（親機）に接続されます。

## ❗ サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

### 【プロパティ】：

通信モードの設定、暗号化の設定をすることができます。

【状態】 タブで無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続状態を詳細に確認することができます。

無線の接続状態が「普通」または「強い」になることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

### 【らくらく無線スタート】：

インストール時に [らくらく無線スタートで無線 LAN の設定を行う] にチェックした場合のみ表示されます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）とのネットワーク名（SSID）や暗号化設定を簡単に行うことができます。

認定方法については、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の「つなぎかたガイド」等を参照してください。

### 【接続先切替】：

サテライトマネージャで設定した接続先（無線 LAN アクセスポイント（親機））を切り替えて使用できます。

### 【タスクバーに常駐する】：

【タスクバーに常駐する】にチェックするとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

### 【バージョン情報】：

サテライトマネージャのバージョンや無線 LAN 端末（子機）のドライバのバージョンを確認できます。

### 【終了】：

サテライトマネージャを終了します。

## ❓ サテライトマネージャを起動するには

サテライトマネージャを終了させたあとに、再度サテライトマネージャを起動するときには、[スタート] をクリックし、[プログラム] - [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックします。

## ❗ Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になるには

Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定でいったん設定を行っていた場合、Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になるには、Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定を停止する必要があります。

- ① サテライトマネージャを起動する
- ② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- ③ 次の画面が表示されるので [はい] をクリックする

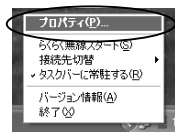





以上の設定を行うと、Windows® XPでサテライトマネージャが使用できるようになります。P36からのサテライトマネージャでの無線LANアクセスポイント（親機）の登録設定、暗号化設定を行ってください。

## サテライトマネージャで無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態を確認することができます。

- 1 通知領域（タスクトレイ）の「サテライトマネージャ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択する



-  無線LAN端末（子機）が正しく接続されていません。
-  無線LANアクセスポイント（親機）が見つかりません。
-  無線LANアクセスポイント（親機）が正しく検出できています。

●無線LANアクセスポイント（親機）との電波の状態は次の通りです。

-  青3本 **強い**
-  青2本 **普通**
-  黄2本 **弱い**
-  赤1本 **限界**

- 2 「状態」タブをクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態が表示されます。



- 3 接続状態を確認し、「閉じる」をクリックする

無線の接続状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。  
※[11aモードタイプ]で無線LAN端末（子機）が対応しているIEEE802.11aのタイプ（●P15）を確認することができます。（現在通信しているタイプではありません。）



## サテライトマネージャで確認できる接続状態について

### 【グラフ表示】

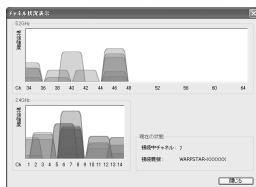
通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。



### 【状態】 - 【チャンネル状況】

近くの無線LANアクセスポイント（親機）が、どのチャンネルで使われているかを表示します。同じ無線チャンネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。

現在接続中のチャンネルは赤で表示されます。



## ワイヤレスネットワークの設定 (Windows® XP の場合)

Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。

「ワイヤレスネットワークの設定」では、WEP (152bit)、ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) は、ご利用になれません。暗号化無効または WEP (64bit、128bit) でご利用いただけます。(WEP (152bit) は Windows® XP (Service Pack 1) 以降を適用したパソコンの場合のみご利用になります。TKIP、AES は Windows® XP (Service Pack 2) 搭載のパソコンの場合のみご利用になります。) 通常は Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」を無効にして、サテライトマネージャで設定してください。

※あらかじめパソコンに WL54SU のドライバがインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合は、サテライトマネージャ (●P21) または、手動で (●P26) ドライバをインストールしてください。

### ❗ らくらく無線スタートで設定を行った場合

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定し、WL54SU を接続し直す必要があります。

- ① サテライトマネージャを起動する
- ② 通知領域 (タスクトレイ) にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、**【プロパティ】** をクリックする
- ③ **【詳細設定】** タブをクリックする
- ④ [Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする] のチェックを外す



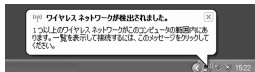
- ⑤ **【はい】** をクリックする
- ⑥ **【閉じる】** をクリックする
- ⑦ 通知領域 (タスクトレイ) にあるサテライトマネージャアイコンを右クリックし、**【終了】** をクリックする
- ⑧ WL54SU を取り外し、接続し直す

●暗号化設定されていない無線 LAN アクセスポイント (親機) に接続する場合 (●P47)

●暗号化設定されている無線 LAN アクセスポイント (親機) に接続する場合 (●P49)

## 無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されていないとき）

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバブルが表示される



※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。

- 2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

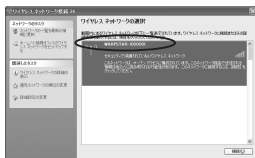
Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

- 3 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。

ただし、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に「無線LAN設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

・[利用できるネットワーク] に使用する無線LANアクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。



（次ページに続く）

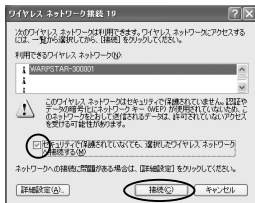
お願い

- 次の画面が表示されたときは、[セキュリティで保護されていないネットワークへ接続する] にチェックを入れて [接続] をクリックしてください。

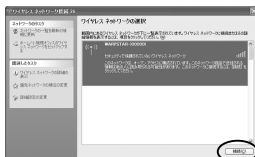
#### 4 [接続] をクリックする

#### 5 次の画面が表示された場合は、[接続] をクリックする

#### 6 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する



※画面はWindows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。



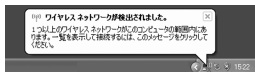


## 暗号化を設定して無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されているとき）

以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して 64bitWEP/128bitWEP/152bitWEP をご利用になる場合の説明です。WEP（152bit）は Windows® XP（Service Pack 1）以降を適用したパソコンの場合のみご利用になれます。

※暗号化の設定を行う場合は必ず無線LANアクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバブルが表示される



- 2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

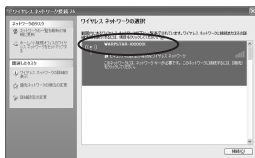
Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

- 3 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。

ただし、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に「無線LAN設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

使用する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。

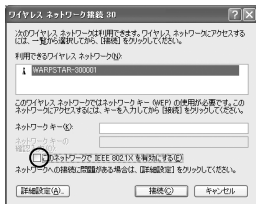


※画面は Windows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。Windows® のアップデート状況により画面が異なります。

（次ページに続く）

お願い

- [このネットワークで IEEE802.1x を有効にする] の  は必ず外してください。

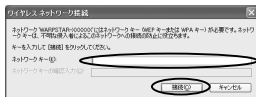


※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

- 4 Windows® XP (Service Pack 2) の場合は [接続] をクリックする  
Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は、そのまま手順 5へ進みます。

- 5 無線 LAN アクセスポイント (親機) の暗号化キー番号が 1 番の場合、  
[ネットワークキー] に暗号化キーを入力し、[接続] をクリックする

※キー番号に 2 番～4 番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は [キャンセル] をクリックし、手順 6 に進みます。

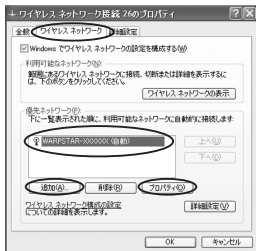


- 6 [詳細設定の変更] をクリックする

Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は、[詳細設定] をクリックします。

- 7 [ワイヤレスネットワーク] タブをクリックし、接続する無線 LAN アクセスポイント (親機) のネットワーク名 (SSID) をクリックして、[プロパティ] をクリックする

接続する無線 LAN アクセスポイント (親機) のネットワーク名 (SSID) が [優先ネットワーク] (Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は [優先するネットワーク]) 欄に表示されていない場合は、[追加] をクリックします。



## 8

## 表示される画面にあわせて暗号化の設定を行う

## ■ Windows® XP (Service Pack 2) の場合

## 〈暗号化モードでWEPを使用する場合〉

- ① [ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する
- ② [データの暗号化]で[WEP]を選択する
- ③ [キーは自動的に提供される]のチェックを外す
- ④ [ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字 / 16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII文字の場合：

英数字 5文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

英数字 13文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

英数字 16文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

・ 16進数の場合：

0～9・A～Fで10文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

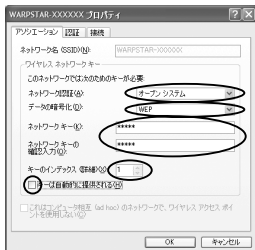
0～9・A～Fで26文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

0～9・A～Fで32文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

- ⑤ 無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1のまま使用する
- ⑥ [OK]をクリックする



**〈暗号化モードで TKIP、または AES を使用する場合〉**

①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]を選択する

②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

8～63桁の英数記号、または16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8～63桁の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	:	?	]	{
*	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[	_	}
\$	(	,	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・64桁の場合

16進数【0～9、a～f、A～F】

④[OK]をクリックする

■ Windows® XP (Service Pack 1) の場合

① [データの暗号化]にチェックする  
 （画面に [ネットワークアシエーション] ・ [データの暗号化] の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」 ・ [WEP] を選択する

② [キーは自動的に提供される]のチェックを外す

③ [ネットワークキー]を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さをもとに自動識別されます。

・ ASCII文字の場合：

英数字 5 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

英数字 16 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

・ 16進数の場合：

0～9・A～Fで 10 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

0～9・A～Fで 26 文字：

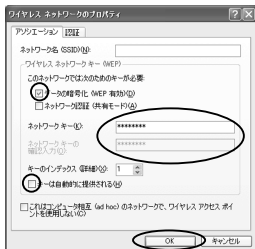
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

0～9・A～Fで 32 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

④ 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1のまま使用する

⑤ [OK]をクリックする



※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

(次ページに続く)

## ■ Windows® XP (Service Pack 1) 適用前の場合

- ① [データの暗号化] にチェックする
- ② [キーは自動的に提供される] のチェックを外す
- ③ [ネットワークキー] は、無線 LAN アクセスポイント (親機) に入力した暗号化キーを入力する

### キーの形式：

無線 LAN アクセスポイント (親機) で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII 文字を選択してください。

無線 LAN アクセスポイント (親機) で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

### キーの長さ：

無線 LAN アクセスポイント (親機) で「暗号化強度」を標準 (64bit) と設定した場合は、40bit を選択してください。

無線 LAN アクセスポイント (親機) で「暗号化強度」を拡張 (128bit) と設定した場合は、104bit を選択してください。

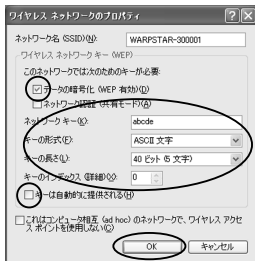
### キーのインデックス：

無線 LAN アクセスポイント (親機) で設定されている番号に合わせてください。

キーのインデックス (詳細) が 0~3 と表示されますので、1~4 と読み替えてください。(数字が 1 つずれていますので注意してください。)

※無線 LAN アクセスポイント (親機) 側は、クイック設定 Web の [無線 LAN 側設定] - [暗号化 (WEP)] で使用する暗号化キーを確認してください。

- ④ [OK] をクリックする



## 無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

1 パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする

2 [状態] をクリックし、[全般] タブで確認する

3 無線設定が正しく行われていることを確認する

- ・[状態] は「接続」になっていること
- ・[速度] が表示されていること  
(表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。Super AG機能を利用している場合は、108Mbpsと表示されます。)



※画面はWindows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定、確認方法については、無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書等を参照してください。ここでは、WR6650S の場合を例に説明しています。

●無線 LAN 端末（子機）の接続に関する問題

症 状	原因と対策
ネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面にある「無線 LAN 設定ラベル」に記載されています。ただし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に「無線 LAN 設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。</li> <li>●Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャでも確認することができます。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で、[スキャン] をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名 (SSID) で無線 LAN アクセスポイント（親機）を識別できます。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線 LAN 側設定] 内の「アクセスポイント設定」で確認することもできます。</li> </ul>
暗号化のキーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線 LAN 側設定] 内の「暗号化」で確認できます。</li> </ul>
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っているか、確認してください。</li> <li>●パソコンの USB ポートに WL54SU がしっかり奥まで挿入されているか、確認してください。また、WL54SU のランプが点滅しているか、確認してください。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎているか、確認してください。</li> <li>●WL54SU のランプのつき方を確認してください。消灯している場合は、WL54SU が無線 LAN アクセスポイント（親機）を正しく認識していません。無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信の設定をやり直してください。</li> </ul>



症 状	原因と対策
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない （つづき）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク名（SSID）があっているか、確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定値は、クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線 LAN 側設定] 内の「アクセスポイント設定」で確認できます。 ※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面にある「無線 LAN 設定ラベル」に記載されています。 ただし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に「無線 LAN 設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。</li> <li>● 暗号化を有効にしている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号化強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線 LAN 端末（子機）によっては暗号化強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。 ※（例）暗号化強度 ・ WEP64bit → 40bit ・ WEP128bit → 104bit ※（例）暗号化キー ・ Windows® XP のワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」</li> <li>● 通信モードがあっているか、確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使います。 ※ Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、[設定] をクリックして確認します。</li> <li>● コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。</li> <li>● サテライトマネージャの接続先の選択でチェックの入っている接続先を選び直してみてください。</li> <li>● 近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。</li> </ul>
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の電波状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。</li> </ul>

症 状	原因と対策
「アドホック通信」(パソコン間通信)で通信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通信モードを「アドホック通信」でご使用の場合は、[チャンネル番号]が一致しているか、確認してください。</li> <li>● WL54SUで「アドホック通信」を行う場合は、[無線動作モード]の[802.11a/802.11b]を選択してください。</li> <li>※ Atermシリーズの無線LAN端末(子機)をご利用の場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名(SSID)」をクリックし、[設定]をクリックして、[チャンネル番号]・[無線動作モード]を確認します。</li> <li>● IEEE802.11aモードをご利用の場合は、34, 38, 42, 46ch(J52)、52, 56, 60, 64ch(W53)を利用したアドホック通信は行えません。36, 40, 44, 48ch(W52)をご利用ください。</li> </ul>
Windows® XPの[ワイヤレスネットワーク]の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。</li> <li>● 無線LAN端末(子機)のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 いったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 Atermシリーズの無線LAN端末(子機)をご利用の場合は、次の手順となります。 ①[スタート]-[すべてのプログラム]-[Aterm WARPSTARユーティリティ]-[ドライバのアンインストール]をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL54SU(無線USBスティック)を接続する</li> </ul>
無線状態が良好なのに、通信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定IPアドレスでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント(親機)と無線LAN端末(子機)に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 例：無線LANアクセスポイント(親機)が192.168.0.1のとき、無線LAN端末(子機)は192.168.0.X</li> </ul>
無線状態が良好なのに、速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くに隣接する無線チャンネルを使っている場合は、無線チャンネルを確認して、別のチャンネルに変更してください。</li> <li>● 無線LANアクセスポイント(親機)と無線LAN端末(子機)が近すぎる場合は、無線LANアクセスポイント(親機)と無線LAN端末(子機)を1m以上離してください。 また、Atermシリーズの無線LAN端末(子機)をご利用の場合は、サテライトマネージャの設定画面で「送信出力」を下げてみてください。ただし、その場合は、遠くにある無線LAN端末(子機)から接続しにくくなります。</li> </ul>
AVサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Atermシリーズの無線LAN端末(子機)をご利用の場合で、サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。</li> <li>● AVサーバのレートを下げて低品質に下げてください。</li> <li>● 無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となる場所に移動させてください。</li> </ul>

## ● サテライトマネージャに関するトラブル

症状	原因と対策
インストール時に「このパソコンには無線制御用ソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サテライトマネージャのインストールをいったん停止し、パソコンにインストールされている無線制御用ソフトをアンインストールしてから再度サテライトマネージャをインストールしてください。</li> </ul>
らくらく無線スタートが成功しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化が解除されている → 無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。</li> <li>● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定が適切になっていない → 無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定が適切になっていない場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。</li> <li>● パソコンでファイアウォール、ウイルスチェックなどが動作している → 設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。</li> <li>● パソコンに設定された固定 IP アドレスが無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあていない → パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。</li> <li>● 既に古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている → 古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから行ってください。</li> <li>● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている → らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点減状態になったらいったん離します。「つなぎかたガイド」等の手順に従ってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。</li> <li>● 無線 LAN 端末（子機）（WL54SU など）のほかにネットワークデバイス（ETHERNET ボードなど）が動作している → ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合 LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。</li> <li>● 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない → 無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。WEP（128bit）に対応していない無線 LAN 端末（子機）を利用する場合無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を変更する必要があります。</li> </ul>

症 状	原因と対策
Windows® XP/2000 Professional で、サテライトマネージャがインストールできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Administrator 権限のあるユーザーでログインしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログインしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。</li> </ul>
サテライトマネージャは使える状態（青表示）になるが無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暗号化を有効にしている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号化強度、暗号化キー）があつていることを確認してください。暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。</li> <li>● Windows® XP をご利用の場合は、[Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする] 設定になっていることを確認してください。</li> </ul>
「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント（親機）が見つからない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電波状態により、「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力して検索し直してください。</li> <li>● クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線 LAN 側設定] の「子機の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力するか、ETHERNET 接続のパソコンから「子機の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」のチェックを外して「ネットワークの参照」で検索してください。</li> <li>● 無線 LAN 端末（子機）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。</li> <li>● ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させないと、無線 LAN 端末（子機）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。</li> </ul>
[サテライトマネージャ] アイコンが使える状態（青表示）にならない通信状態が「範囲外」となる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続ができていません。「無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない」（P57）を確認してください。</li> </ul>
サテライトマネージャが使用できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● WL54SU（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]-[すべてのプログラム]-[Aterm WARPSTAR ユティリティ]-[ドライバのアンインストール]をクリックする</li> <li>② 画面の指示に従って、アンインストールを行う</li> <li>③ WL54SU（無線 USB スティック）を接続する</li> </ul> </li> <li>● 上記の手順でも正しくインストールされていない場合は、次のページの手順で再インストールしてください。</li> </ul>

症状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない (つづき)	<p><b>&lt; Windows® XP の場合 &gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① WL54SU に添付の CD-ROM (WARPSTAR ユーティリティ) をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、<input checked="" type="checkbox"/> または [閉じる] をクリックして画面を閉じる</li> <li>② [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] 画面で [キャンセル] をクリックする</li> <li>③ [スタート] - [コントロールパネル] をクリックする</li> <li>④ [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする</li> <li>⑤ [システム] アイコンをクリックする</li> <li>⑥ [ハードウェア] タブをクリックする</li> <li>⑦ [デバイスマネージャ] をクリックする</li> <li>⑧ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする</li> <li>⑨ [NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する</li> <li>⑩ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする</li> <li>⑪ 「パソコンとの接続 (ドライバの手動インストール)」 (☛P26) を参照して再インストールを行う</li> </ol> <p><b>&lt; Windows® 2000 Professional の場合 &gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① WL54SU に添付の CD-ROM (WARPSTAR ユーティリティ) をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、<input checked="" type="checkbox"/> をクリックして (機種によっては [終了] をクリックして) 閉じる</li> <li>② [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする</li> <li>③ [システム] アイコンをダブルクリックする</li> <li>④ [ハードウェア] タブをクリックする</li> <li>⑤ [デバイスマネージャ] をクリックする</li> <li>⑥ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする</li> <li>⑦ [NEC AtermWL54SU (PA-WL/54SU) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する</li> <li>⑧ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする</li> <li>⑨ 「パソコンとの接続 (ドライバの手動インストール)」 (☛P26) を参照して再インストールを行う</li> </ol>

## WL54SU 仕様

## ■ 仕様一覧

項目		諸元		備考
端末インタフェース		USB (USB2.0推奨※1)		
無線 LAN インタフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャンネル	5.2GHz帯 (5150-5250MHz) /34.38.42.46ch (J52) /36.40.44.48ch (W52) 5.3GHz帯 (5250-5350MHz) /52.56.60.64ch (W53)	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
		伝送速度(※2)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz帯 (2400-2497MHz) /1 ~ 14ch	
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
		伝送速度(※2)	11/5.5/2/1Mbps(自動フォールバック)	
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャンネル	2.4GHz帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
		伝送速度(※2)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
	アンテナ	内蔵アンテナ (ノンダイバーシティ)		
セキュリティ	SSID, WEP (64/128/152bit)、 WPA-PSK (TKIP, AES)			
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED × 1		
利用可能端末		PC-AT 互換機		
利用可能 OS		Windows® XP 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版		
電源		DC5V × 420mA		パソコンから 給電
消費電力		約 2.1W (最大)		
外形寸法		約 31 (W) × 121 (D) × 11 (H) mm		コネクタ部含む
質量		約 0.03kg		
動作環境		温度 0 ~ 40℃ 湿度 10 ~ 90%		結露しないこと

※1 USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンは AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) をご覧ください。WL54SU の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

※2 規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

※ Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定では、無線 LAN アクセスポイント (親機) の暗号化モードが暗号化無効または WEP (64bit/128bit) の場合にご利用になれません。

(WEP (152bit) は Windows® XP(Service Pack 1)以降を適用したパソコンの場合のみ対応しています。TKIP、AES は Windows® XP (Service Pack 2) 搭載のパソコンの場合のみ対応しています。)

※ 34.38.42.46ch (J52)、52.56.60.64ch (W53) を利用したアドホック通信は行えません。

# MEMO

# MEMO



# MEMO

## END USER LICENSE AGREEMENT

- 1. License Grant and Limitations.** The End User License Agreement shall state that:  
Licensee grants the end user ("End User") a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User's archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User's rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.
- 2. Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability.** In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.
- 3. Third Party Beneficiary.** The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:  
**Third-Party Beneficiary.** The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 ("Wind River"), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User's use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.
- 4. U.S. Government Use.** All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be "commercial computer software" and "commercial computer software documentation", respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be "technical data-commercial items" pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).
- 5. Export Restrictions.** The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

## ● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

## ● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

## ● 廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

#### お願い

- お問い合わせやアフターサービスについては、別紙をご参照ください。
- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ADSL など回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

本書は、古紙配合率 100% の再生紙を使用しています。

**NEC アクセステクニカ株式会社**  
Aterm WL54SU 取扱説明書 第 1 版

AM1-000242-001  
2005年7月



\* A M 1 - 0 0 0 2 4 2 - 0 0 1 S \*